

赤碕の海を元気にしたい

あかさき 赤碕小新聞

学校概要



【学校名】琴浦町立赤碕小学校
【所在地】琴浦町赤碕264
【校長名】新井紀子
【児童数】185人
【教育目標】ふるさとに愛着をもち、自ら
気付き考え学び、仲間と共にた
くましく生きる子どもの育成

沿革

1873年 専称寺に赤碕学校が
開校
1880年 赤碕小学校に改称
1913年 現在地に移転
2023年 創立150周年



ヒジキのついた岩を確認する児童ら



調査用に 岩を固定 ヒジキの生育確認

赤碕小の5年生は学校近くの 育確認と設置したロープにどん
菊港で、岩に付いたヒジキの生 な生き物が付くのかを調査し
た。赤碕の海や自然を守る活動
をしている岩田弘さん(88)の指
導で作業を行った。
夏休み前にロープを海上に浮
かべ、両端は海岸に固定。ヒジ
キのついた岩8個が流されない
よう、周辺をほかの岩などで固
めた。児童は、ロープにたくさ
んのワカメや生き物が付くのを
期待した。
いよいよ迎えた確認の日。み
んなでヒジキ岩を探したが、見
つからない。あきらめかけた時
奇跡的に一つだけ発見した。残
りの7個は流されたらしい。
岩田さんは「ロープは探して
も見つからず、ヒジキ岩も波に
さらわれた」と説明。児童は海
で生き物を育てる大変さを学ん
だ。
ロープがなくなったことにつ
いて、中本湊祐さんは「自然の
力すごい」、高塚晴輝さんは
「岩田さんとみんなでロープ

自然の力はすごい！

見つけた海の生き物を確認する児童ら



たくさんの生き物発見 季節ごとに変わる海中

・春の調査・

赤碕小の5年生35人は琴浦町
赤碕の菊港で、赤碕の海の神様
とも言われるくらい熱心に海や
自然を守る活動を行っている岩
田弘さん(88)の指導を受け、春
の海の生き物調査を行った。
学校のプールにアメンボやミ
ズカマキリ、ゲンゴロウ、ヤゴ
など水生昆虫がたくさんいた
め、5年生は海の菊港にはもっ
とたくさんの生き物がいるので
はないかと考え、調査に取り組
むことにした。
調査の結果、貝やエビ、ヒト
デ、フナムシ、フグ、カサゴ
毛ガニ、ヒジキ、ワカメ、ウニ
などが見つかった。
児童は岩田さんに「これは何
ですか」「この貝は食べられま
すか」など、次々に質問した。
熱心に調査をした長沢彪斗さん
は「小さな生き物がほとんどだ
ったけど、生き物に触れられて
うれしかった。また生き物調査
をしたい」と話した。
(高塚晴輝、入江日和、金田
蒼真、中本湊祐、山崎千晴、若
木咲龍)

・夏の調査・

琴浦町赤碕の菊港で、赤碕小
の5年生が赤碕の夏の海が元氣
かどうかを確かめたり、季節に
よる海の様子の変化を確認した
りするために生き物調査を行っ
た。赤碕の海や自然を守る活動
をしている岩田弘さんの指導を
受け、児童はたくさんの生き物
を発見した。
特に、児童が多く見つけたの
はアメフラシだ。体長15〜40㎝
の黒いナメクジのような見た目
の生き物で、岩田さんは「アメ
フラシがいる海は、海藻がいっ
ぱいある元気な海」と説明。児
童は季節によって海の様子が太
く変化することを理解した。
アメフラシを見つけた森嶋馬
さんは「最初はめぐるめぐるして
気持ち悪かったけど、アメフラシ
という名前がかわいいなと思っ
た」と話し、佐藤優聖さんは「こ
れからも海をみんなで協力して
守っていきたい」と述べた。
(今田愛翔、天野優飛、梶浦
早桜、針本珠夢、大口叶多、立
花悠人)

ロープ張りの作業をする児童ら



調査場所を 探すの大変

ロープ張りヒジキ移植

赤碕小の5年生は昨年7月12日、
赤碕の海や自然を守る活動に取り組
む岩田弘さんと一緒に、琴浦町赤碕
の菊港でヒジキの移植と生き物調べ
のロープ張りの作業を行った。
5年生は総合的な学習で、海を元
気にするための活動として生き物調
査を行い、海藻を増やすことが海を
元気にすることにつながることを学
んだ。
当日は海藻を増やすため、ヒジキ
が付いた岩を海藻が付いていない所
に移した。中本湊祐さんは「意外と

置く場所が見つからなかった」、佐
藤優聖さんは「ヒジキ岩を別の岩で
固定したり、良い感じの場所を見つ
けたりするのが難しかった」と話し
た。
波でヒジキ岩が流されないよう
に岩などで固定するのは大変な作業
で、立花悠人さんは「石垣の中にヒ
ジキ岩を置くのが結構重労働だっ
た」と作業を振り返った。
(光本紗羽、藪内莉愛、大井蘭、
河本帆加、林原歩美)

を引く張っても動かなかったの
に、自然力で動いたのでびっく
りした」と話した。
ヒジキ岩について、杉本ちよ
浪花笑さんは「奇跡だなと思っ
た」と述べた。
(佐藤優聖、新宮めい、前田
くさ、シュウタ、たけふ、1個
だけあつてうれしかった)、世
愛翔、入江柚生、三谷悠、林原
心那)

「海を大切に」伝える

赤碕小で昨年10月25日、
学習発表会が開かれた。5
年生は「赤碕の海を元氣に
さんを迎えて赤碕の海の調

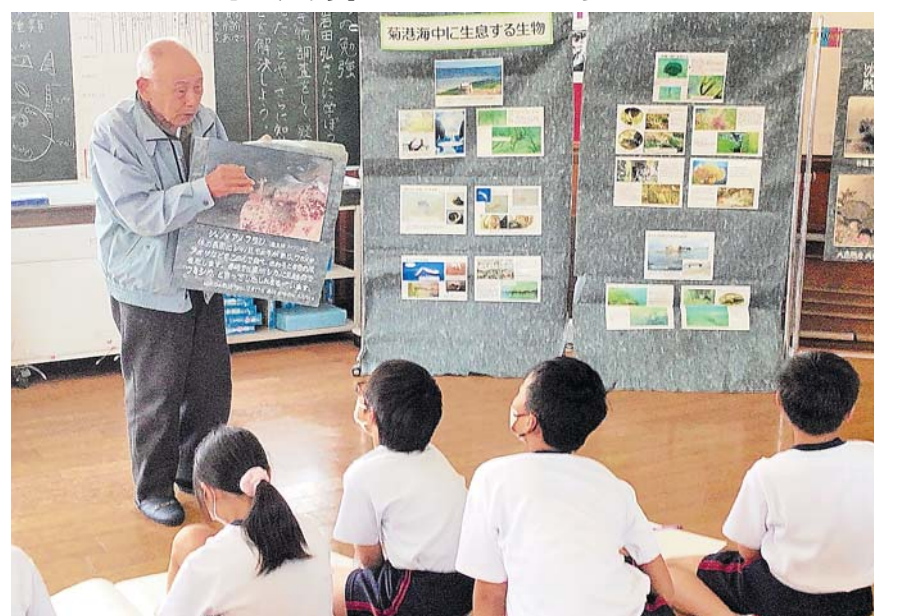


学習発表会 保全活動を劇で紹介

児童は赤碕の海と私たち
との関わり方についてのメ
ッセージを伝え、保護者や
地域のみなさんには大きな
拍手が送られた。
梶浦早桜さんは「海を大
切にするということが伝え
られた」と笑顔で話した。
(田原一和、井上葉那、
世浪花笑、浜川真帆、杉本
ちよまる、川上健瑠)

5年生が作った新聞です

山、川、海のつながり 自然界の巡りを学ぶ



岩田さんから山、川、海のつながりを学ぶ児童ら

赤碕小の5年生は総合的な学習
の時間に、琴浦町赤碕の岩田弘さ
んから海を元氣にする方法につ
いて学んだ。
「海を元氣にしようと思ったら、
川や山を元氣にする必要がある」
と聞いた児童は、山と川が海とつ
ながっていることに疑問を持ち、
どうつながっているのかを調べ
た。
(森嶋馬、長沢彪斗、岩間杏子、
西脇湊人、入江琉偉、勢渡梨央奈)

劇で岩田さんの活動を紹介する5年生